

清掃活動

環境美化活動/柳井支部

クリーンアップ作戦で地域をきれいに!

30数年前、柳井地域にある建設業者の2代目など20名あまりが集まって「青建会」というグループが発足しました。当初は各地のダムや高速道路、トンネルなどの建設現場見学や、講師を呼んでの勉強会を通じて知識・見識を広めるための活動をしてきたそうです。この「青建会」のメンバーは、今では企業の経営者として、また地域経済活動をリードする一員として各地区で活躍しています。

柳井支部で行われている「環境美化活動」は、このメンバーたちが中心になって始まったものです。毎年の恒例行事として認知度も上がり、現在では県の職員と合同で行う地域貢献活動の一環として、広く市民から支持されています。

■40名が県職員とともに道路脇のゴミ拾いを実施

平成9年に田布施の河川公園清掃からスタートした清掃活動。このときから協会員や従業員が参加する恒例行事となり、平成12年からは管内の道路清掃を行うようになり、平成15年からは柳井地域に勤務する県職員がつくる「柳井地域行政連絡協議会」と合同で行うようになりました。

また、平成21年には「公的機関以外が主催する地域活動（企業のボランティア活動について県が地域貢献度を評価するもの）」に認められたことから柳井支部が実施要領を定め、毎年「道の日」（8月10日）に実施されることになり現在に至っています。



集合する参加者



ゴミ拾いの様子

平成23年の清掃活動には、協会の32会員から約40名が参加。午後5時30分から1時間半にわたり国道188号線と市道（旧188号）の歩道でゴミ収集を行いました。今回はのべ6kmの区間で行いましたが、ゴミの量は意外に少なかったようです。

「始めた当初は袋がいっぱいに



井森浩視柳井支部長

こうした活動を続けることで、近年では協会員企業の中にも地域貢献の意識が高まってきています。年に数回程度、定期的に清掃活動を行ったり、中には毎月のように所在地近くで清掃活動を行う会社も現れています。「近隣住民の方たちからも喜ばれていることから、今後は清掃活動の輪をいっそう広げていきたいですね」と支部長の井森浩視さん。

■地域貢献の意識が向上。地元住民からも応援してもらえるように

なるくらいゴミを拾っていました。が、年々減る傾向にあります。私たちの活動が実を結んでいると思いたいですね。最終的には私たちがこの活動をする必要がなくなるというですね」と参加者の一人が笑って話していました。

■地域貢献で業界の認知とイメージアップを

土建業者は裏方のイメージが強く、社会的な認知度が低いのが現状です。しかし災害時などは最前線に出向き、復旧作業に取り組むのも土建業者です。柳井支部では、清掃作業のエリアや路線を変えることで、より広いエリアで地域貢献を行う計画を進めています。

「各地で清掃活動を中心とした地域貢献活動の輪を広げていき、さらに、業界の重要性とイメージアップを図ってまいりたい」と井森支部長が今後の方針を語ってくれました。

参加された皆さん、お疲れ様でした



平成23年度の社会貢献活動一覧 (452社 1220人)

支部名	平成23年度活動内容	実施日	参加人数
大島	大島大橋付近法面草刈	6月1日	23社 25人
岩国	錦川流域河川一斉清掃	7月10日	32社 64人
柳井	環境美化活動（道路清掃）	8月10日	27社 37人
玖珂	河川環境美化活動	6月21日	9社 27人
周南	清流錦川（周南地域）一斉清掃大作戦	5月7日	8社 16人
	末武川（東側・西側）河川清掃	7月3日	7社 22人
	道路（一般県道徳山新南陽線等）環境美化活動	9月23日	29社 84人
防府	防府環境美化推進活動	12月14日	44社 114人
山口	公共施設クリーンアップ作戦	7月12日	90社 284人
宇部	公共施設クリーンアップ作戦	8月10日	53社 161人
下関	「道の日」公共施設クリーンアップ作戦	8月10日	19社 57人
豊田	栗野川河川公園クリーンアップ作戦	7月22日	8社 20人
	河川愛護月間行事（田部川）	7月29日	5社 10人
	河川愛護月間行事（木屋川）	7月20日	7社 14人
美祿	クリーンアップ作戦 河川の部	7月22日	18社 72人
	クリーンアップ作戦 道路の部	8月28日	18社 72人
長門	河川愛護県民運動	7月1日～13日	2社 35人
	長門市海岸清掃	7月3日、10日	25社 64人
萩	萩市市民一斉清掃	7月10日	28社 42人